

凡 例	
想定震度	
<span style="color: blue;">■</span>	5弱以下
<span style="color: green;">■</span>	5強
<span style="color: yellow;">■</span>	6弱
<span style="color: orange;">■</span>	6強
<span style="color: red;">■</span>	7

図 2-7 想定震度分布図

出典：新潟市、「防災基礎調査」（平成 19 年）

中央部の地震(M7.0) 液状化危険度分布図

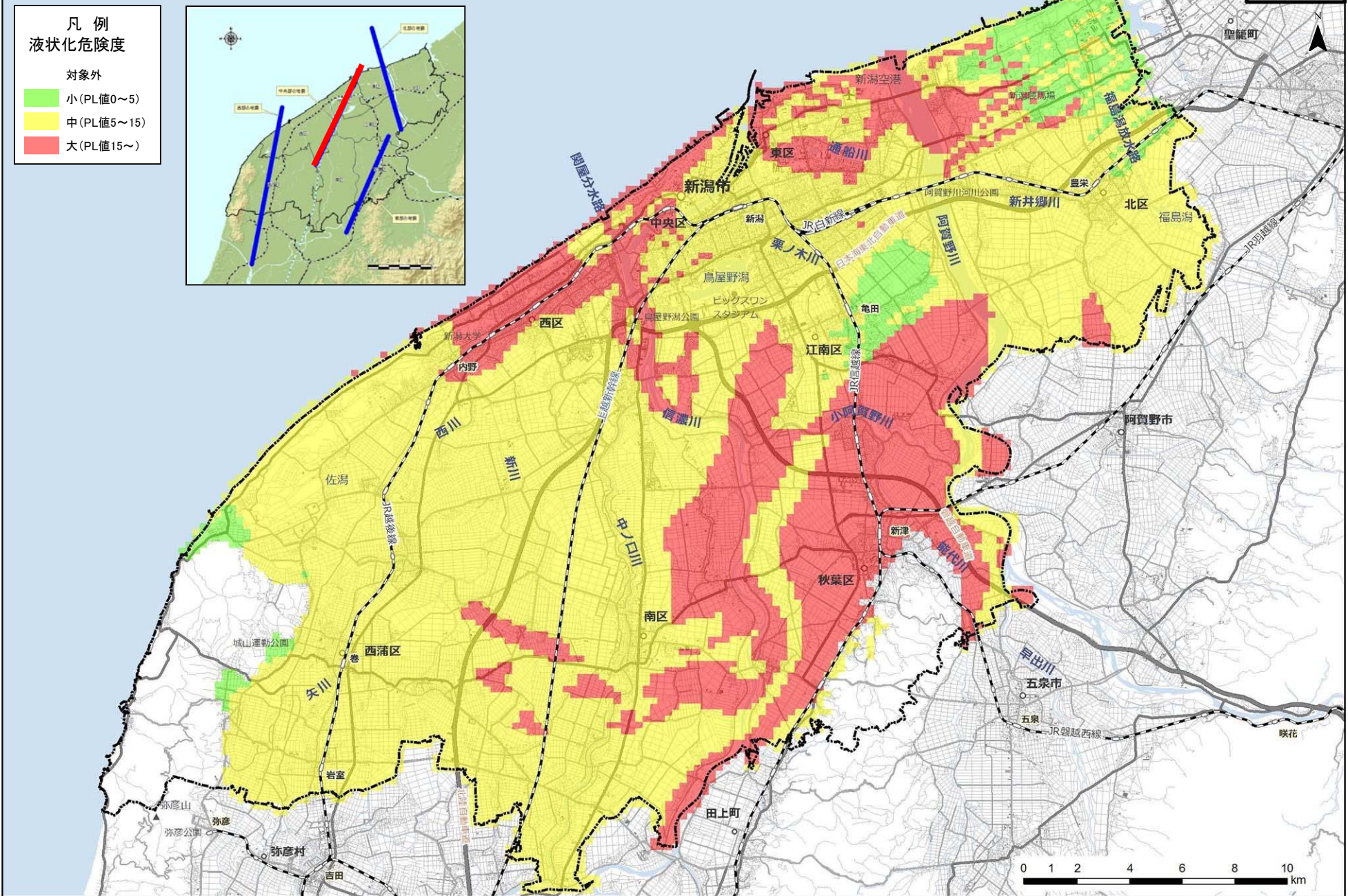


図 2-8 液状化危険度分布図 (中央部の地震)

出典：新潟市, 「防災基礎調査」(平成 19 年)

### 2-1-3 新潟市における津波災害リスク

#### (1) 新潟市における津波災害リスクの概要

新潟市では、低平な越後平野の中央部に位置し、海岸部には標高 10～30m 程度の新潟砂丘が発達しているため、内陸部で津波リスクが高い地域は、砂丘が途切れる河口部周辺に限定される。

#### (2) 新潟市における過去の津波災害（新潟地震津波）

昭和 39 年の新潟地震では、地震発生後 34 分後から高さ 1～2m の津波が来襲し、河口部低地を中心に市内で約 5,600ha が浸水した記録が残されている。ただし、液状化等、他の浸水要因が重なった結果であり、津波単独による浸水区域に関する明確な記録は不明である。

#### (3) 新潟市における津波被害想定

新潟県では、平成 18 年度に津波被害想定を実施しており、図 2-9 に示す新潟県南西沖地震、粟島付近の地震、佐渡北方沖地震の 3 つの地震を想定している。上記地震が発生した場合に想定される津波災害の概要は以下のとおりである。

- ・新潟砂丘の海側の地域と、信濃川および阿賀野川の河口部周辺が津波浸水想定区域となっている。
- ・地震発生から津波到達までの時間は 20～40 分程度と想定されている。
- ・浸水想定深は、概ね 50cm 以下である。

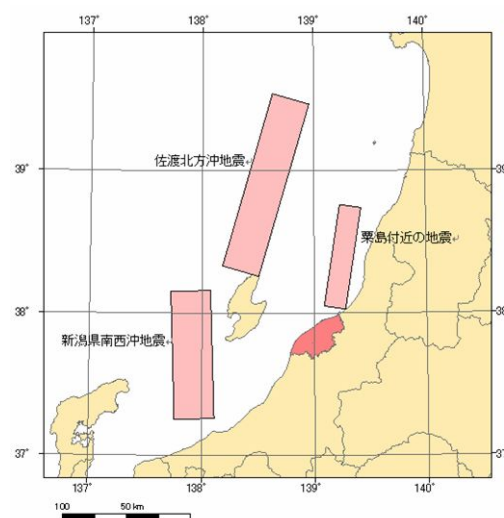


図 2-9 想定地震（津波被害）

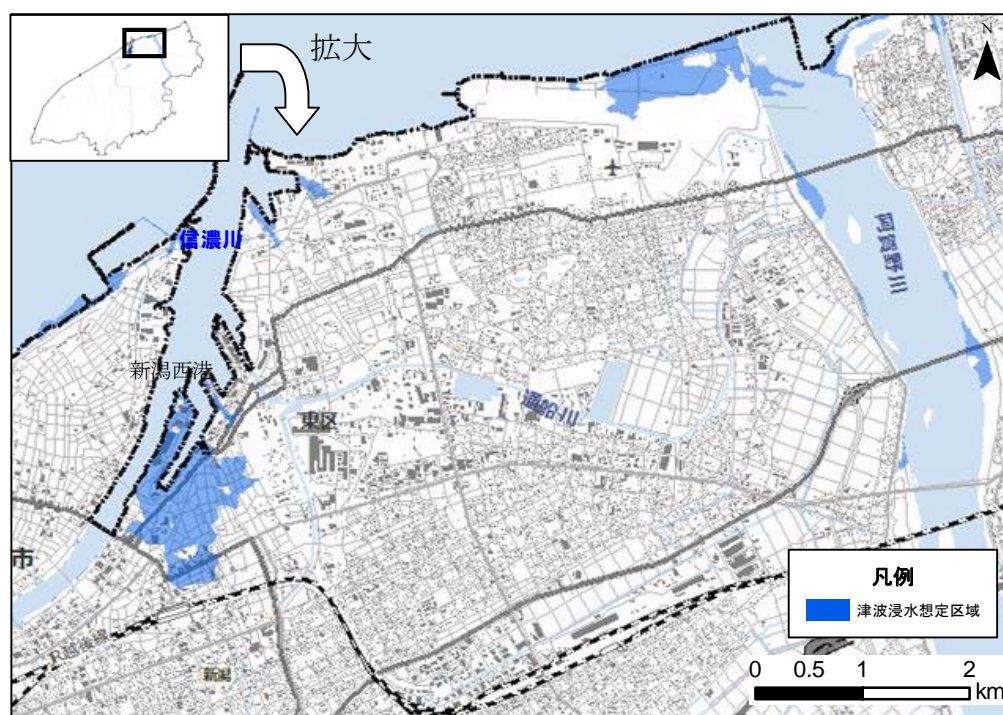


図 2-10 津波浸水想定区域の範囲（3つの想定地震による最大浸水範囲）  
出典：新潟県、「津波浸水想定図」（平成 18 年）